



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.34

Edition November 7th, 2016

第23回世界大会

階級・選考方法は継続審議

オーストリア・リンツで第23回世界空手道選手権大会が開催されました。金メダル6個を獲得し、総合成績1位に輝いた日本選手団の活躍は、報道されている通りです。

WKF理事会および総会での決定事項、動きがあった案件について報告します。

任期満了に伴う会長選挙が行われ、エスピノス会長が再選、4期目に入りました(1期6年、2022年まで)。また、全空連の笹川堯会長がWKF名誉会長に就任しました。これは、2020東京オリンピック追加種目提案にあたり多大な貢献をされた笹川会長の長年のご尽力を称えてのことです。

東京オリンピックでの組手種目の体重および選考方法については、度重なる議論がなされましたが結論にいたらず、審議継続という結果になりました。通常の5階級をいかに3階級に区切るか、また選考方法についても1種目10名という制限の中で実に多様な意見があり、時間をかけて議論を尽くす必要が出てきました。今後担当で成案を図り、最終的にはIOCの許可を得て確定することになります。

将来の世界大会 開催都市が決定

2017年の世界ジュニア&カデット大会開催地がスペインのテネリフェ(エジプトを予定していたが変更)、2020年の第24回世界大会の開催地はドバイとなりました。

他には、WKF選手委員2名が任期を終えるにあたり改選が行なわれ、日本から立候補した喜友名諒選手が最多票を獲得して当選しました。選手委員会とは、現役



左から2人目の女性がテグラ氏。その両脇は難民選手団として出場した選手たち。世界大会会場にて。

選手または引退後間もない委員で構成され、選手の意見をWKF理事会に直接伝達し、選手の立場に立ったよりよい環境づくりを目指すチームです。イタリア人のベネテッロ氏が委員長を務めており、選手委員長は自動的にWKF理事になります。

国連平和大使 テグラ氏

このたび、ケニア出身のオリンピック(マラソン元世界記録保持者)で、国連平和大使のテグラ・ローペ氏に会場いただき、表彰式のメダルプレゼンターを務めていただくことが叶いました。彼女は先般のリオ五輪で難民選手団の団長を務めた方で、母国に平和基金を設立し、スポーツを通じた平和活動に力を入れています。

今大会では、WKFの旗のもとに難民選手の出場を認め、3名が参加しました。この事はもとより、空手競技の盛り上がりを見てテグラ氏は感銘を受け「空手に協力したい」と申し出てくださいました。テグラ氏のように国際スポーツ界で広く活躍する方々に空手の魅力を伝えていく必要性を改めて実感した次第です。

世界空手連盟 事務総長

奈藏稔

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp